

# 宇部のコミュニティ・スクール

## R-PDCAサイクルを意識して

3学期に入り、学校運営協議会では今年度の取組に関する評価について協議をする時季を迎えました。

コミュニティ・スクールは、取組の評価をもとに、保護者や地域住民の意見を生かしたR-PDCAサイクルによる学校経営を推進することが大切だといわれます。そして、学校評価の結果に基づく改善の協議をすることは、教職員が保護者・地域と学校の目標やめざす児童像を共有するつながりづくりと学校や地域の組織の活性化や教職員・地域住民の自らの意欲と力を高める取組を一層推進していく大切な意味をもっていると考えられます。

学校評価の結果から読み取れる、学校の現状と子どもたちや学校・地域が変容してきた理由を冷静に探り、適切な手立てを的確かつ継続的に打っていく。そんな躍動感のあるコミュニティ・スクールの取組を今年も期待したいと思います。

R-PDCAサイクル…PDCA（Plan：企画立案 → Do：実践 → Check：成果・結果評価 → Action：改善策実施）にR（Research：実態調査・診断）を加えた目標やビジョン実現のためのサイクル

### ◎「コミュニティ・スクール」の取組紹介

#### 藤山小学校運営協議会

1月22日に、第4回学校運営協議会が開催されました。各部からいじめアンケートの結果、学力定着状況確認問題の結果、学校評価の結果についての報告がありました。校長先生をはじめとする学校からの丁寧な情報発信により、保護者や地域の方が学校とつながり子どもたちのためという思いを高めていることが分かりました。

学校運営協議会委員、PTA代表、教職員の目標を共有した協議と着実な取組の積み重ねが、子どもたちに夢の実現や目標達成に向けて努力しようという気持ちに火をつけていると思いました。



【伊藤 CS 会長の、学校をパートナーとして支えるという思いが出席者に伝わり、和やかに協議が進みました。】

#### 琴芝小学校運営協議会

1月24日に、第4回学校運営協議会が開催されました。

学校評価アンケートの結果報告が行われ、学習指導、元気創造、生徒指導、地域連携の4視点から、成果と改善点についての協議が行われました。協議全体を通じて印象的だったのは、①アンケート結果に関する協議が学校・保護者・地域のそれぞれの立場から本音で協議されていたこと。②小中の連携を生かして子どもたちと地域のつながりを育てようという意見が出されたこと。などでした。

運営協議会の井上会長による円滑な司会と学校が作成した4つの視点ごとの結果分析が、学校・保護者・地域の当事者意識を高めるとともに、地域総がかりで「挑戦し、未来を拓く『琴芝っ子』の育成」を推進する取組を後押ししていると感じました。



【学校評価アンケート結果協議も、目標実現につながる意識を高めるものになりました。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail: ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp